

# YAMAHA

保安部品を備えたコンペティション兼用モデル

ヤマハ2サイクルトライアル

『TY250スコティッシュ』

新発売について

昭和59年5月

ヤマハ発動機株式会社

本社広報室 ●〒438 静岡県磐田市新貝2500 TEL.0538311111 / 東京広報室 ●〒104 東京都中央区銀座 1-1-1 TEL.03-5511-1111

当社では、昨年8月に発売して好評のトライアル・コンペティションマシン・ヤマハ「TY250R」をベースに、パフォーマンスはもとより、そのスタイリングも継承し、ストリートモデルとしての必要最小限の装備を施した2サイクルトライアルモデル『TY250スコティッシュ』を6月25日より新発売いたします。

極低速からフラットで高いトルクを発揮する扱いやすい2サイクル单気筒エンジンに、高張力鋼管ダイヤモンドフレーム、リンク式モノクロスサスペンション、カムレバー内蔵のフロントブレーキなど、数多くのパーツを「TY250R」と共通化するこのマシンは、意のままにコントロールする楽しさを満喫させてくれます。

『TY250スコティッシュ』は、道路の走行に必要なランプ類やバックミラーなどの保安部品を備えているので、トランスポーターなしでもトライアル競技への参加や、トライアルライディングの練習が可能です。

#### 記

名 称 : ヤマハトライアル「TY250スコティッシュ」

発 売 日 : 昭和59年6月25日

標準現金価格 : 398,000円

(北海道・沖縄価格は404,000円)

カラーリング : ホワイト

販 売 計 画 : 4,000台(年間、国内)

## 『TY250スコティッシュ』開発の背景

モーターサイクルスポーツ、とりわけトライアルの人気の高まりは、ここ数年、とくにめざましいものがあります。

しかも、トライアル競技参加者が増加しているばかりでなく、この競技人口をはるかに上回るサンデー・トライアラーが、トライアル・ライディングを楽しんでいます。

当社がコンペティション専用車として開発した「TY250R」は、国際A級ライダーからトライアル入門者まで、幅広く愛用されていますが、競技場や練習場所までトラック等で運搬しなければならないことから、公道を走れる「TY250R」のストリートリーガル・バージョンの要望が高まっていました。

『TY250スコティッシュ』は、こうしたトライアラーの熱いニーズに応えると同時に、より多くのライダーにトライアルライディングの楽しさを提供するために開発したものです。

## 『TY250スコティッシュ』開発の狙い

開発に当っては、とくに以下に重点を置いています。

### (1) 「TY250R」のストリートリーガル

ストリートモデルとしての保安基準を満たしながら、ストリート用、性能ともに「TY250R」に限りなく近いマシンであること。

## (2) トライアル競技兼用マシンとしての高いポテンシャル

トライアル風ファッショナブルバイクではなく、そのままで上級の技術を持つライダーも十分満足できる高いポテンシャルを備えたマシンであること。また戦闘力が高いばかりでなく、初心者にもコントロールしやすい特性を有すること。

## (3) 「TY250R」との部品の共通化

コンペティションモデルとほとんど共通の部品を使用し、競技専用モデルへのグレードアップが可能であること。

## 『TY250スコティッシュ』の主な特長

### 1. トライアル適性を発揮するコントローラブルなエンジン

トライアル専用マシン「TY250R」のために開発した単気筒 68mm スクエアの 2 サイクル・ピストンリードバルブ・246cc エンジンを採用。人間が歩くより遅い極低速から中・高速に至るまで回転全域において、フラットで粘り強いトルク特性を発揮します。

この太い低速トルクは、低速を重視したスクエアエンジンの採用に加えて、独自の燃焼室、吸排気ポートのセッティング、テーパーパンチングパイプ内蔵マフラーの採用等によって得ることができます。

極低速時にもスロットルワークに過度に神経を集中させる必要もなく、余裕を持ってマシンコントロールを行なえる、この扱いやすいトルク特性は、コントローラブルな 2 サイクルエンジンのメリッ

トに、フラットでトルク変動の少ない4サイクルエンジンの特性を加味したものです。

最高出力は14PS、最大トルクは2.3kg.mと、ピーク特性を多少おさえて、低中速時の性能を重視し、実際の競技で高いポテンシャルを発揮するよう配慮してあります。

## 2. 低回転でも点火が確実なコンペティション用C.D.I

点火装置には、すぐれた火花性能を持ち、点火を確実にすると同時に、メンテナンスフリーのC.D.Iを採用していますが、これもトライアルマシンの特殊な走行条件に合わせて「TY250R」用に開発した低速型のC.D.Iです。

## 3. エンジン回転数対応型オートループ

「TY250R」のエンジン潤滑方式が燃料・オイル混合式であるのに対し、『TY250スコティッシュ』は一般道路を走行する場合を考慮して、分離給油装置・ヤマハオートループを採用しています。

一般型のオートループが、オイルの吐出量をエンジン回転数とスロットル開度の両面からコントロールするのに対し、このオートループは、スロットルとは連動せず、エンジン回転数のみによって潤滑オイル供給量がコントロールされる新設計の機構です。

これは、小型・軽量でシンプルな給油機構を採用することで、トライアル競技で要求される微妙なアクセルコントロールを可能にしたもののです。

## 4. 理想的なギヤレシオを持たせた6速ミッション

6速のミッションは「TY250R」と共通のものです。すなわ

ち1速から4速まではセクション・トライ用に、5速、6速はコース間移動や一般道路をふつうの速度で走行するために設定されています。

3速あるいは4速からの発進も無理ではなく、6速でも30km/h程度の走行が可能です。

1～4速は、ドッグクラッチの噛合い角を5°と狭め、微妙なアクセルワークにも忠実に反応するものとしました。またセクショントライ中も迷うことなく最適なギヤ段位を選定できる理想的なクロスレシオにセッティングしてあります。

## 5. ポジション移動がスムーズにできるスリムな車体構成

高張力鋼管ダイヤモンド型フレームを中心に構成されている車体は、ブラケット類の追加と、シートレールをやや厚肉にしたほかは「TY250R」と共通で、きわめてスリム。トライアルライディングに不可欠な頻繁ながらだの移動もスムーズにしています。

シートは公道での着座走行に備えてやや厚肉になっています。

ハンドル、キッククランク、チェンジペダル、サイレンサー、サイドスタンドは「TY250R」と違ってスチール製ですが、C.D.Iカバーや前後のブレーキプレートにマグネシウムを採用しているのをはじめ、アンダーブラケット、スタビライザー、リム、エンジンガード、モノクロスサスペンションなどはアルミ製で、保安部品を装備した状態で90kgという軽量なモデルに仕上げてあります。

## 6. ニュートラルなハンドリング性能

一般道路における走行を配慮して、燃料タンクは「TY250R」

より 1.5 ℥ 多い 5 ℥ の容量を持つスチール製にしました。またハンドル切れ角は「TY250R」とほぼ同じの 65° と、十分ワイドに設定することができました。

豊富なテストの繰り返しにより、外乱に対してもきわめて素直に反応し、ライダーのイメージどおりの動きを示すニュートラルなハンドリング性能を持っています。

#### 7. 効果が実証済みのリンク式サスペンション

「TY250R」でその効果が実証されたリンク式モノクロスサスペンションを採用しています。これは重心まわりへの重量マスの集中化ができることで操縦性が向上するとともに、トライアルマシンとして最適なライジングレート効果を持たせリヤホイールの路面追従性をアップさせているものです。

クッションユニットはプリロード 6 段調整式。リヤアームピボット部にはニードルローラーベアリングをセットしています。

リンク式モノクロスサスペンションの採用は、ギャップやロックなどのセクションで、ライダーの抜重動作をほとんど不要にするほどの効果を生み出しています。

#### 8. 新開発のコンペティション兼用タイヤ

『TY250 スコティッシュ』のためにヤマハと井上ゴムが共同開発したコンペティション兼用タイヤは、その巧妙なセッティングによってグリップ性にすぐれ、トライアルセクションで高い性能を発揮します。

#### 9. ゆるみの少ない Z スポークホイール

前後ホイールに、インナー・アウターが連続した Z スポークを探

用。ハブの接線方向に力が働くために、ゆるみにくく、また増締めしてもハブの真円度が変わらないために、ブレーキドラムの変形もなく、安定したブレーキ性能を保持します。

#### 10. カムレバー内蔵式のフロントブレーキ

130φ ドラムのフロントブレーキには、「TY250R」用に開発したカムレバー内蔵タイプを採用。ブレーキパネル内にカム機構をすべて内蔵しているため、狭いロックセクションで、カムレバーが岩にひっかかってブレーキロックの状態になったり、マディでレバーとカバーの間に泥がつまり、確実な操作を行なえない、などといったブレーキトラブルを完全に解消しています。

さらにブレーキパネル外側にライニング摩耗インジケーターをセットしています。

#### 11. 整備性を配慮した保安部品類

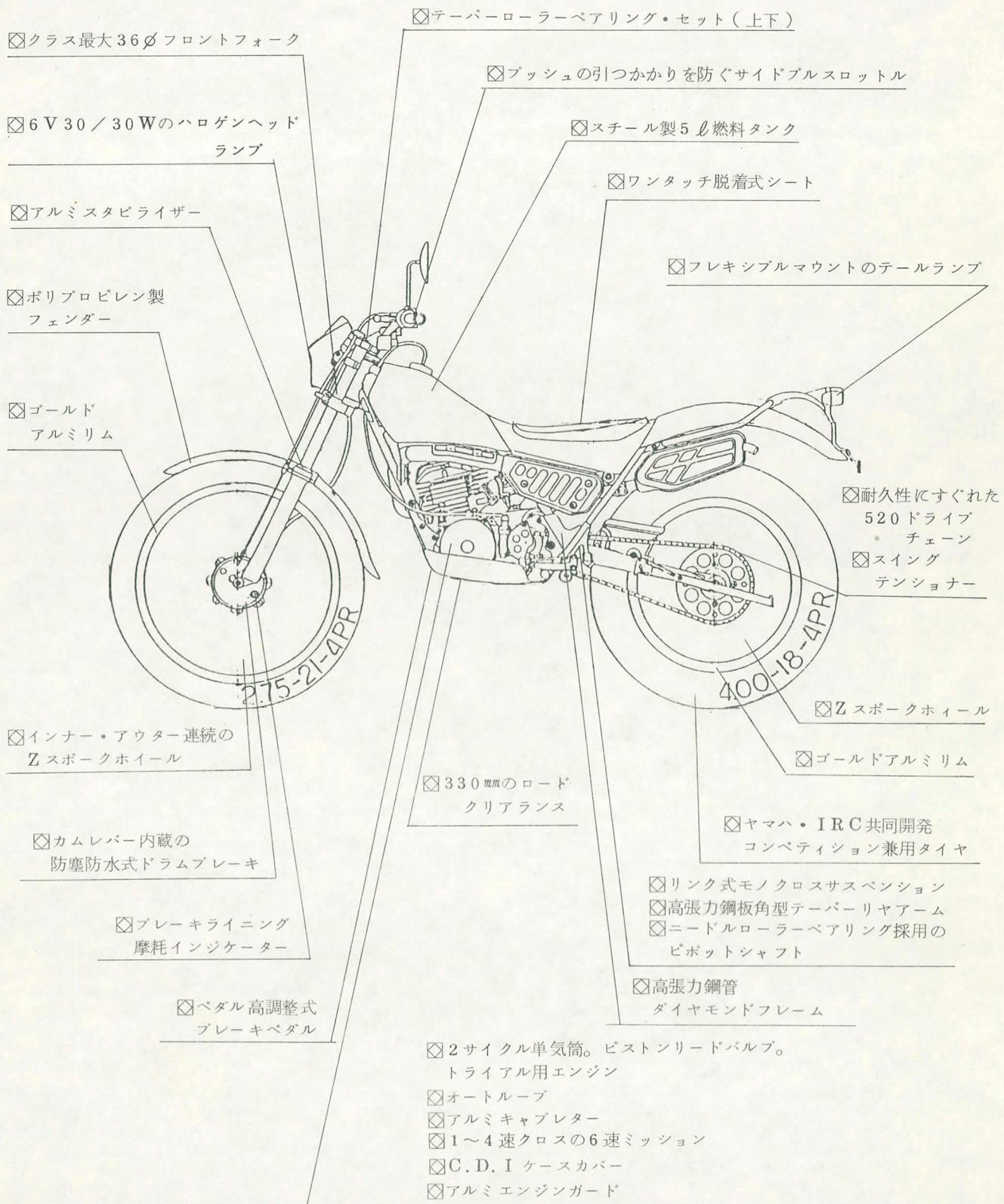
一般道路の走行用に備えて、フレーム等に若干の補強を施したり、振動対策のためにエンジンのマウント部の追加、サイレンサーの構造変更などを行ないました。

また、トライアル競技中、転倒などにより部品の補修、交換が必要になった際に、作業が容易に行なえるよう設計に配慮しています。

#### 12. ディー・バッグを標準装備品としてセット

工具やスペアパーツ、あるいは身の廻りの品が入る、『TY250スコティッシュ』のグラフィックをアレンジしたデザインのディー・バッグが標準装備品としてセットされています。

## 「TY250スコティッシュ」フィーチャーマップ



「TY250スコティッシュ」仕様諸元表

名 称		TY250	1 次 減速 機構		ギヤ
寸 法 及 重 量	全 長	2070 mm	同上 減速比	71/20	3.550
	全 幅	805 mm	2 次 減速 機構	チエーン	
	全 高	1100 mm	同上 減速比	42/14	3,000
	シート 高	785 mm	クラッチ 形式	湿式多板	
	軸間 距離	1325 mm	動力 伝達 装置 変速 機	形 式	常時噛合式前進 6段
	最 低 地 上 高	330 mm		操作 方法	左足動リターン式
	乾 燥 重 量	90 kg		変速比 1速	39/13 3.000
	舗装平坦路燃費	4.5 Km/ℓ (50 Km/h)		" 2速	37/15 2.467
	最 小 回 転 半 径	1.5 m		" 3速	31/16 1.938
	制動 停止 距離	14 m (50 Km/h)		" 4速	31/22 1.409
	原動機種類	2サイクル ピストンリードバルブ		" 5速	26/27 0.963
原 動 機	気筒数配列	単気筒		" 6速	21/31 0.677
	総 排 気 量	246 cc	フレーム形式		鋼管ダイヤモンド
	内 径 × 行 程	68 mm × 68 mm	走行 装置	キヤスタ	23° 00'
	圧 縮 比	7.6 : 1		トレール	50 mm
	最 高 出 力	14 ps (4500 rpm)		タイヤサイズ	前 2.75 21-4 PR
	最 大 ト ル ク	2.3 kg·m (2500 rpm)			後 400 18-4 PR
	始 動 方 式	キック式	制動 装置	形 式	前 ドラム(リーディングトレーリング)
	潤滑 方 式	分離給油 (ヤマオートルーブ)		後 ドラム( " )	
	オイルタンク容量	0.4 ℥		ブレーキ腔径	前 130 mm
	エレメント種類	湿式ウレタンフォーム			後 110 mm
燃 料 装 置	燃料タンク容量	5 ℥	装懸 置架	懸架方法	前 テレスコピック
	キャブレタ型式	53 Y (Y26 P)		後 リング式モノクロスサスペンション	
	" メーカー	TK 水化器	装緩 置衝	前	180 mm
	点火 方 式	C.D.I		後 160 mm	
電 気 装 置	点火プラグ型式	B8ES	灯火 及 照 明	ハンドル切角	65° (左右)
	" メーカー	日本特殊陶業		ヘッドランプ	6V 30/30W
	バッテリ容量	6V 2Ah		テールランプ	6V 5.3W
	バッテリ型式	6N2		ストップランプ	6V 17W
				フラッシュランプ	6V 8W
			装メ 置タ	速度計	